

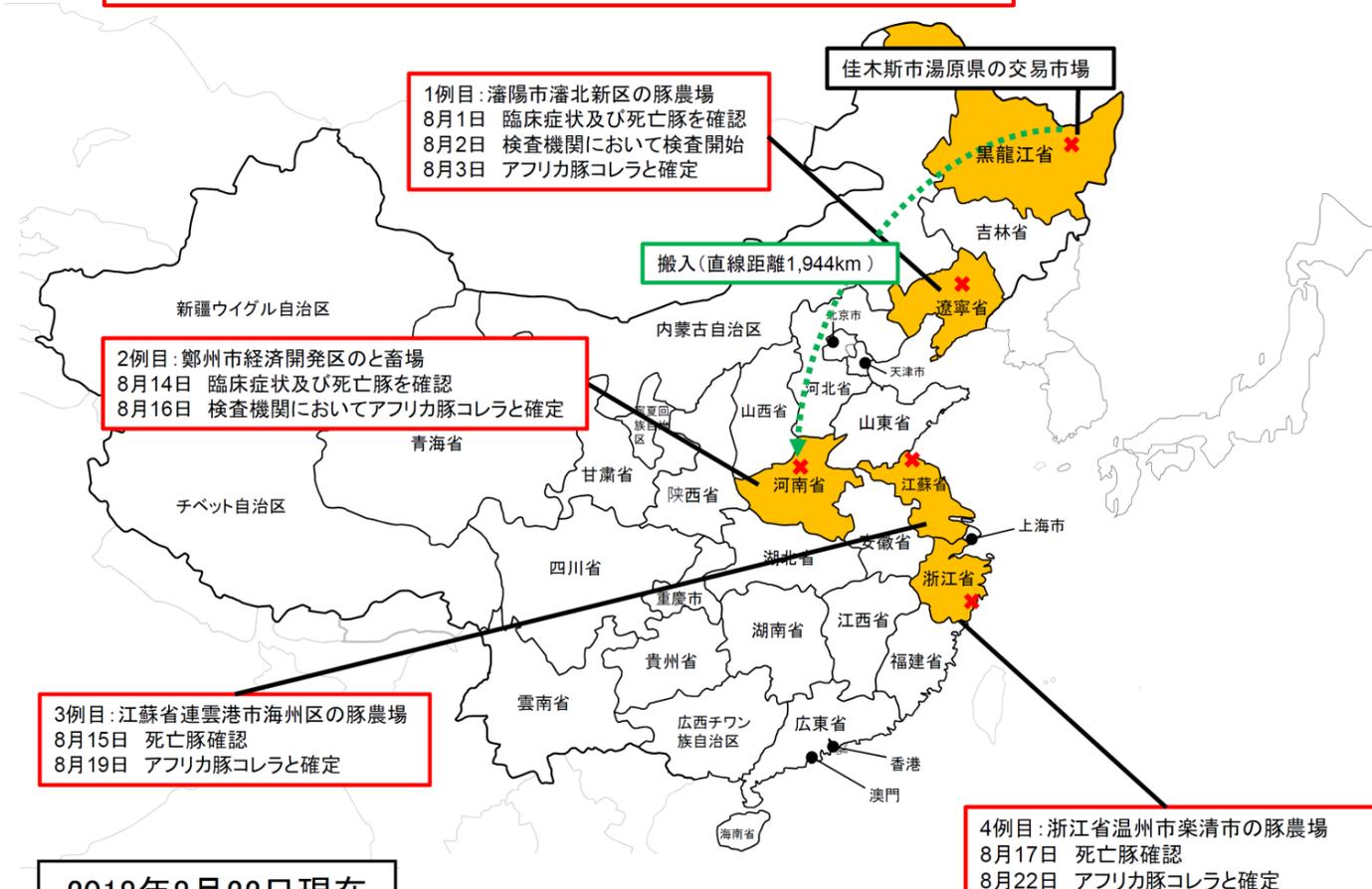
中国でアフリカ豚コレラが発生しています。

2007年にロシアで発生が確認されて以降、その発生地域が徐々に拡大していたアフリカ豚コレラが、8月3日にアジアで初めて中国で発生し、8月23日現在4例の発生が続いています。

現在、中国当局において、淘汰や消毒等の防疫対策が行われるとともに、疫学調査も実施されているところですが、2例目は約2,000km離れたと畜場とと畜搬入元での発生となっており、広範囲な感染が危惧されます。

関係者におかれましては、発生地域への不要不急の渡航について自粛していただくとともに、農場の衛生管理の徹底についてご指導お願いします。生産者で残飯を利用される場合は、加熱処理を徹底するとともに、死亡家畜の適切な処理を行ってください。また、次のページに示す症状が確認された場合は、速やかに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

インターンシップ研修生の受け入れについて

熊本県では、中央家畜保健衛生所を中心に、獣医学部(科)学生を対象にしたインターンシップを実施しています。本年度は、平成30年8月中旬から9月中旬までに6名の研修生を受け入れる予定です。

インターンシップは、獣医学部(科)学生が本県の家畜衛生行政等への理解を深めるとともに、将来の進路選択について検討する機会を設け、本県の獣医師職員確保に資することを目的としています。

当所の事業を実施する際に、研修生が職員と出張等に同行する機会がありますので、御協力をお願いいたします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5	台湾(7件)	採卵鶏、肉養鶏、あひる	平成30年1月12日 ~6月26日
	H5N2		採卵鶏、肉用あひる、地鶏	平成30年7月18日 ~8月13日
	H5	ロシア(13件)	家禽	平成30年7月19日 ~8月5日
	H5N2			平成30年8月9日
口蹄疫	O型	中国(3件)	豚、牛	平成30年8月8日 ~8月18日
アフリカ豚コレラ		中国(4件)	豚	平成30年8月1日 ~8月17日

平成30年9月1日時点

毎月**20日**はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう!

